

政務活動報告書

令和5年11月20日

服部良一

調査先 林野庁

対応 青山豊久長官

安田幸治 森林整備部課長

外 4名

内容。所有者不明森林への対応について

。多面的機能発揮対策交付金について

。特定森林再生事業について

(1) 所有者不明森林については所有者から申し出も可
であるが不明の場合 特別措置を持ち得る
として市町村が受け持つことが可能になり
また 経営管理を再委託できる ことに適しない
場合 やはり市町村が管理する。

(2) 交付金については現場のニーズに合った
交付金の多面的にあることを再度 所轄と
確認することの重要である。

(3) 再生事業については 都道府県、市町村にて

所有者の協定が必要であり、森林管理法に
基づき再生事業を行おう 以下

事業後 10年は皆伐を行わない定がある
整備事業は多種あるが、八ヶ岳にある問題
を解決にあたり、国と県、市町村との
協定により、より良い補助にあたることか
大事である。

以上

令和5年11月21日

訪問先 フジテレビジョン 常任顧問
一般社団法人 エコロジーカフェ
大学院 デジタルコンテンツ 特任教授
株式会社 リンゴリンク
元 総務相 地方創生担当

小崎 俊巳

内容 これからの地方創生

- 我々地方の多問題を説明した。
公金については目的を作り その土台となる専門部分野の人材が第一である
そして、その分野にかかる経費、
設備投資が必要で
地元産の売り込みを海外を含む
ネットを用いて広げると人々を繋がる
ことから 始めなければならぬ。

以上

令和5年11月22日

訪問先 三井共同建設コンサルタント(株)
吉田泰平

内容 都市計画 街づくり

質問 〇 空乏屋問題

〇 交通機関の減少問題

〇 過疎が進む中地域コミエツイーが崩壊しつつある何のアイデアかない[300]

〇 交流人口を増やすための手法を。

本業は建設関係の業務でありながら
会社のモットーは環境保全や地方のため
地産地消の新規事業 あるいは畜産
を商品化する取り組みを行っている
それによって地方の人々との交流を計り
会社は新たな発展を目指すとのこと。

八世市に私にも新しい目標を身につけたい
からいい。そして私達の問題点の解決への
糸口と探そうに行っている。

以上